

平成 28 年度  
明星学苑事業報告書（抜粋）

（平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで）

学校法人明星学苑

平成 29 年 5 月

# 平成 28 年度 明星学苑事業報告書

## 目 次

|                                   |                   |
|-----------------------------------|-------------------|
| 理事長あいさつ                           | 1                 |
| I. 法人の概要                          | 2                 |
| 建学の精神・教育方針・校訓・明星学苑がこれからも変わらず目指すもの | 2                 |
| 各校の教育目標                           | 2                 |
| 各校の教育内容と教育方法                      | 2                 |
| 沿革 (省略)                           |                   |
| 設置校及び所在地 (省略)                     |                   |
| 役員の概要 (省略)                        |                   |
| 評議員の概要 (省略)                       |                   |
| 学生数・生徒数 (省略)                      |                   |
| 教職員数の推移 (省略)                      |                   |
| 組織概要 (省略)                         |                   |
| II. 事業の概要                         | 4                 |
| 平成 28 年度事業基本方針と進捗状況               |                   |
| 法人 (省略)                           |                   |
| 明星大学                              | 4                 |
| 府中校 (明星中学校・高等学校、明星小学校、明星幼稚園) (省略) |                   |
| 卒業生の進路・就職状況                       | 14                |
| III. 財務の概要 (省略)                   |                   |
| 平成 28 年度決算について (省略)               |                   |
| 経年推移比較 (省略)                       |                   |
| 財務比率 (省略)                         |                   |
| 学校法人の会計について (省略)                  |                   |
| 別添資料                              |                   |
| 1. 学生生徒等在籍者数 (省略)                 | 2. 資金収支計算書 (省略)   |
| 3. 活動区分資金収支計算書 (省略)               | 4. 事業活動収支計算書 (省略) |
| 5. 貸借対照表 (省略)                     | 6. 財産目録 (省略)      |
| 7. 監査報告書 (省略)                     |                   |

「グローバル時代と明星教育」

理事長 吉田 元一

明星学苑の建学の精神は、「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」であります。今から 80 年以上前につくったこの建学の精神は、まさに私たちが現在直面するグローバル時代を見越した洞察であったと思います。今の社会は好むと好まざるにかかわらず、ますます競争が厳しくなるグローバリゼーションの中で、私たちはより豊かな社会を実現していかなければなりません。

私達は、明星教育を受けた卒業生が、その豊かな社会を担う人材、又世界に貢献できる人材となる、そういう学校を目指しています。基本的な学力はもちろん、将来社会のリーダーとなるべく人格を磨き、教養・見識を身につけてはじめて「世界」に貢献できる人が育つはずでです。このような人材を育成するため、オール明星で教育改革、改善に取り組み、幼小中高の一貫教育、また大学を擁する総合学園の強みをさらに発揮していきます。

本学苑は平成 35 年に 100 周年を迎えます。これは私達にとって一つの節目であります。この節目で最も重要なことは、明星学苑がさらにその後の 100 年存続でき社会に貢献できる人材を育てる学校になることです。グローバリゼーション時代のリーダーを育成すると同時に、地域に根ざした学校として、進学面でも就職面でも多摩地域でナンバーワンの私学になることです。

世の中の流れはますます不確実性を増し、社会の変化の中、今学んでいる園児・児童・生徒・学生が将来つく職業の在り方も、ドラスティックに変わるかも知れません。しかし、どのような変化が来ようと、生き抜く力を養い、目に見える学力も目に見えない学力も身につけられる学校として、教職員一同で「手塩に掛ける教育」を続けていきます。

## I. 法人の概要

●建学の精神・教育方針・校訓・明星学苑がこれからも変わらず目指すもの●

### <建学の精神>

「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」

#### 【教育方針】

1. 人格接触による手塩にかける教育
2. 凝念を通じて心の力を鍛える教育
3. 実践躬行の体験教育

#### 【校訓】

健康、真面目、努力

#### 《明星学苑がこれからも変わらず目指すもの》

明星学苑は、建学の精神である「和の精神のもと、世界に貢献する人を育成する」ことをもって社会に寄与することをその使命とする。

そのために、学苑が設置する学校は、校訓「健康、真面目、努力」を旨とし、一人ひとりの学生・生徒・児童・園児を大切にして徳育・知育・体育の調和を目指す「人格接触による手塩にかける」教育を行い、着実に教育の成果を上げることに努める。

#### ●各校の教育目標●

明星大学

自己実現を目指し社会貢献ができる人の育成

明星中学・高等学校

自律心を持った自立した人の育成

明星小学校

正直なよい子の育成

明星幼稚園

よい子の育成

#### ●各校の教育内容と教育方法●

明星大学

- 現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本的知識と技能の習得
- 幅広い教養を身につけた自立する市民の育成
- 心と体の健康管理の教育
- 高度専門職業人及び幅広い職業人の育成
- 体験教育を通して生涯に亘る学習意欲を獲得し、自らの歴史を綴ることができるようにする教育

|                  |  |
|------------------|--|
| <p>明星中学・高等学校</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●凝念教育</li> <li>●3ステージ制による6カ年一貫教育</li> <li>●文化等の違いを体験し、国際理解を深める教育</li> <li>●地域社会との連携による教育（ボランティア活動等の体験教育）</li> <li>●学苑設置校（幼・小・大）との連携とIT教育</li> </ul>       |
| <p>明星小学校</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●凝念教育</li> <li>●五正道（正しく視る、正しく聴く、正しく考える、正しく言う、正しく行う）の実践</li> <li>●豊かな心を育てる教育（心の教育、道徳・躰、体験学習、きめ細かな生活指導等）</li> <li>●確かな学力をつける教育（授業の充実、きめ細かな学習指導等）</li> </ul> |
| <p>明星幼稚園</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●「みなしずか」（凝念）の実践</li> <li>●一人ひとりを大切にした保育</li> <li>●体験を通して学ぶ</li> <li>●年齢に応じた基本的な生活習慣の確立</li> <li>●総合学園の特色を生かした保育</li> </ul>                                |

※“凝念”とは、静座して目を閉じ、雑念を取り払い無念無想の境地に身を置くこと。

## Ⅱ. 事業の概要

### ●平成 28 年度事業基本方針と進捗状況●

#### 明星大学

##### 1. 基本方針

明星大学は、設置者である学苑の建学の精神に基づき「自己実現を目指し、社会貢献ができる人の育成」を教育目標とし、「教育の明星大学～主体的に行動する学生を育て、教育改革をリードする大学～」をビジョンとして掲げ、学苑の高等教育機関として学部学科においては学士力の獲得、大学院においては高度専門職業人や研究者の養成を柱に、以下の教育方針に基づき教育研究活動を展開しています。

(明星大学の教育方針)

- 現代社会に生きるものとして必要不可欠な基本的知識と技能の習得
- 幅広い教養を身につけた自立する市民の育成
- 心と体の健康管理の教育
- 高度専門職業人及び幅広い職業人の育成
- 体験教育を通して生涯に亘る学習意欲を獲得し、自らの歴史を綴ることができるようにする教育

平成 28 年度の事業展開にあたっては、本学の教育研究活動を通して本学が永続的に存続できる基盤を確立していくために達成すべきロードマップを策定し、それに向けての活動を行いました。活動のベースとなるのは、平成 22 年度から全学展開している MI21 プロジェクト (Meisei Innovation for the 21st Century) 活動※に基づくものです。

※ MI21 プロジェクトは、中長期的な重点戦略 (目標) 間の関係を明らかにした、「全学戦略マップ」を基に、「バランス・スコアカード」を活用し、各戦略の具体的な成果目標を定め、PDCA サイクルを回しながら事業を展開する、全学的な取り組みです。

この取り組みは、平成 24 年度の文部科学省補助金事業「未来経営戦略推進経費 (経営基盤強化に貢献する先進的な取り組み)」に採択されました。

ロードマップに掲げる目標の現時点での達成状況 (平成 28 年度末) は、次のとおりです。

##### (1) 進路決定率 (目標 : 90%以上)

プロジェクトで行う有力企業対策、各種セミナーやイベントによる就業意識の醸成、多摩地区にある企業等との連携強化、上場企業を始めとする各種業種・業界別就職ガイダンス・講座などの支援体制を強化した結果、進路決定率は全学で 83.6%から 84.6%に、また就職率も 77.2%から 79.7%へと平成 27 年度より高い結果を得ることができました。

##### (2) 志願者数 (目標 : 20,000 人以上)

オープンキャンパスの充実、高校ガイダンスへの積極参加による受験生や進路担当者との接触機会の拡大、新たな入試制度の導入等により、一般入試及びセンター利用入試の志願者数は、平成 27 年度の 16,470 人から 16,917 人※へと増加しました。

※ スカラシップ制度含みます。

### (3) 離籍率（目標：4.0%未満）：

GPA 制度や「学生カルテ」、学力アセスメントの結果等の積極的な活用による個別指導の強化や学生生活全般（学習面、経済面、精神面）への支援体制を充実させたものの、離籍率は平成 27 年度の 4.2%から 4.9%になりました。

### (4) 科学研究費補助金獲得額（目標：私学上位 50 位以内）

大型科研費応募に向けた、啓発活動の強化や教員の研究全体をコーディネートする URA※の導入効果等により、新規応募件数は 64 件から 57 件と減少したものの、獲得額は約 7,300 万円から約 8,600 万円、私学の中では 89 位（平成 27 年 101 位）となりました。

※ University Research Administrator の略です。大学等において、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果活用促進を行うことにより、研究者の研究活動の活性化や研究開発マネジメントの強化等を支える業務に従事する人材を指します。

### (5) 事業活動収支差額比率（目標：収入超過率 5.0%以上）

平成 28 年度は、大学全体として支出の抑制に努めたこと、また、平成 27 年度のいわき明星大学法人分離に伴う一時的な人件費支出がなくなった結果、平成 28 年度決算では 0.9%と平成 27 年度の-5.0%より大きく改善することができました。

【上記ロードマップ達成状況の経年推移は、11～13 ページの「明星大学ロードマップ平成 24 年度～平成 28 年度 経年推移表」を参照】

## 2. 事業計画

平成26年に開学50周年を迎えた明星大学は、引き続き高等教育機関としての教育、研究及び社会貢献に係る諸事業を推進することで、開学100周年に向けた発展の基盤を整備しています。

平成 28 年度は、本学の教育目標・教育方針の実現を図るため、以下の事業について特に注力して教育研究活動を展開しました。各事業の取り組み状況は次のとおりです。

### 1) 重点事業

#### (1) 「教育の明星大学」としての社会的地位の向上

本学は、社会的認知度の向上及び大学のブランドを確立するため、「教育の明星大学」

をメインコピーとし、積極的な広報活動を展開しています。平成 28 年度は、この方針の下に広告を制作し、新聞、週刊誌、女性誌等へ出稿しました。また、本学のブランドを構築するための基盤として、「明星大学デザインマニュアル」を改訂し、学内における Visual Identity 浸透への取り組みを強化しました。Web を活用した活動については、学内行事等に対する情報収集体制を整理することでホームページ等の掲載内容を充実させ、SNS を活用した情報発信を強化する等、ステークホルダーへのタイムリーな情報提供を促進しました。

さらに、平成 29 年 4 月の心理学部開設準備として、本学公式サイトのリニューアル、心理学の入門書である書籍の刊行等を通して、積極的な広報活動を展開しました。



本学は、大学のブランドを確立するため、統一されたイメージの下、「教育の明星大学」をメインコピーとして積極的に広報活動を展開しております。

今後も SNS を活用した情報発信を強化することで、ステークホルダーへのタイムリーな情報提供を促進していきます。

## (2) 学生の早期自立に向けた修学支援活動の充実

本学は、学生の社会的・職業的な能力を養成するため、正課授業科目と有機的な連携を図りながら、正課外にて行われる各種講座の体系化と強化に取り組んでいます。平成 28 年度は、新たに就職活動や海外留学に資する TOEIC 講座 (チャレンジコース・アドバンスコース) を開講しました。さらに、正課外における学習の場として、ICT 環境を備えたラーニング・コモンズ<sup>※</sup>や、グループ及び個人それぞれで活用できる図書館内の学習スペースを整備し、学生の主体的学習を環境面から支援しています。

また、学生が社会に対して学習成果を明示できる資格の取得を促進することを目的として、新たに「明星大学資格取得奨励奨学金制度」を導入しました。

※ ラーニング・コモンズとは、「複数の学生が集まって自学自習するための共有スペース」の総称です。

## (3) 就職率向上に向けた就職指導の実施

本学は、学生が納得できる就職を実現させるため、就職率向上に向けた就職指導の充実に取り組んでいます。平成 28 年度は、選抜型で行うプロジェクト型の有力企業対策や、企業との接触機会の拡大、新たな業種・目的別の講座・ガイダンスの開講、また、多摩地区の企業等との連携事業を強化しました。さらに、学生の就職状況の情報共有を目的とした各学部学科との連携強化等、就職支援に係る各種施策を実施しました。



|            | (平成 27 年度) |   | (平成 28 年度) |
|------------|------------|---|------------|
| ・進路決定率     | 83.6%      | → | 84.6%      |
| ・上場企業決定率   | 18.0%      | → | 18.6%      |
| ・企業来訪・訪問件数 | 2,870 件    | → | 2,934 件    |
| ・求人件数      | 6,814 件    | → | 6,947 件    |



本学は、学生が納得する進路を実現させるため、毎年、数多くのセミナーや説明会等を実施しており、これらの施策により、学生の就業意識が醸成され、年々卒業生の就職率・進路決定率は上昇しています。本学は、引き続き教育目標達成のため、学生の就職活動の支援体制を強化していきます。

(平成 28 年度に行われたキャリアガイダンスの様子)

#### (4) 教員採用試験合格率向上に向けた取り組みの実施

本学は、本学の強みである教員採用試験の実績の更なる向上に向けた取り組みを推進しています。平成 28 年度は、平成 27 年度の教員採用試験の結果の分析に基づき、本学オリジナルの教員採用試験対策講座、特に 2 次試験対策として小中学校の校長を経験した実務家教員による個別指導等を行った結果、本学では初めて 100 人を上回る 115 人の教員採用試験合格者を輩出することができました。

|             | (平成 27 年度) |   | (平成 28 年度) |
|-------------|------------|---|------------|
| ・教員採用試験合格者数 | 93 人       | → | 115 人      |

※ 卒業生及び通信教育課程の学生を含んでおりません。

※ 全国の都道府県・政令指定都市で実施する公立学校教員採用試験の合格者数であり、校種・教科等は問いません。

※ 期限付任用を除きます。

#### (5) 志願者増加へ向けた募集活動の充実

本学は、目的意識の高い志願者獲得に向けた募集活動の充実に取り組んでいます。平成 28 年度は、受験生や高校・予備校の進路指導担当者に対して「教育の明星大学」や学部学科が行う「体験教育」等の特色をアピールするために、大学案内を刷新するとともに、受験雑誌や進学情報サイト等への積極的な出稿、学部学科別の DM 発送等、学生募集活動を積極的に展開しました。さらに、平成 27 年度の学生募集活動の評価、分析に基づき、オープンキャンパスの充実、多摩地域を中心とした高校・予備校を積極的に訪問し、高校生接触者数の拡大を図りました。

入試制度については、目的別に分類された複数の学科に関して併願出願が可能となる新たな併願制度を導入しました。

|                      |            |   |            |
|----------------------|------------|---|------------|
|                      | (平成 27 年度) |   | (平成 28 年度) |
| ・ 志願者数 (一般・センター利用入試) | 16,470 人   | → | 16,917 人   |
| ※ スカラシップ制度含みます。      |            |   |            |
| ・ 高校生接触者数            | 52,674 人   | → | 50,933 人   |
| ・ オープンキャンパス参加者数      | 13,693 人   | → | 13,088 人   |
| ・ 高等学校訪問数 (延べ)       | 846 校      | → | 937 校      |
|                      | (平成 28 年度) |   | (平成 29 年度) |
| ・ 入学者数               | 2,160 人    | → | 2,148 人    |



本学は、受験生や保護者に対し本学への理解向上を目的に、オープンキャンパスを実施しています。オープンキャンパスでは、本学の学生が中心となって、様々なイベントの企画立案から実行までを担っており、受験生や保護者から好評を得ています。

(平成 28 年度に行われたオープンキャンパスの様子)

## (6) 学生ニーズに基づく個別指導の実施

本学は、様々な課題やニーズを抱えた学生を組織的に支えていくため、学生個々のニーズに基づく個別指導の強化に取り組んでいます。平成 28 年度は、学生の個別ニーズを各学部学科において把握することを目的として、まず学業不振に悩む学生に対して、全ての学部学科で個別面談を実施しました。個別面談後は面談内容の記録を保存することで、引き続き個別指導に役立てることが出来る体制を整備しました。

|       |            |   |            |
|-------|------------|---|------------|
|       | (平成 27 年度) |   | (平成 28 年度) |
| ・ 離籍率 | 4.2%       | → | 4.9%       |

## 2) 基本事業

### (7) 教育の質的転換に向けた教育改革の実施

本学は、社会が求める能力を効果的に養成するために、学部学科の教育目標に基づき、実態に応じた教育課程の再編や授業方法の改善に向けた取り組みを推進しています。平成 28 年度は、平成 29 年度末に予定されている教員免許の取得に係る教職課程の再課程認定を契機と捉えて全ての学部学科の現行カリキュラムを見直すことと定め、その一環として、人材養成の目的、学位授与方針、教育課程編成方針、入学者受入方針の見直しに着手しました。

## (8) 次世代に向けた通信教育体制の構築

本学は、本学の強みの一つである通信教育において、時代に即した通信教育体制の構築に取り組んでいます。平成 28 年度は、学生満足度の向上を図るため、インターネットスクーリング開講科目の充実や、入学希望者向け「入学コース診断システム」、学修支援システム「Star Web」におけるスマートフォン対応化を行う等、ICT を活用した取り組みを推進しました。

募集活動においては、Web 広告や雑誌への出稿を通じて本学通信教育部の知名度向上に努め、また、都道府県の教育委員会等との情報交換を通じて、現職教員等を対象に保育士資格の取得や特別支援学校の取得が可能となる科目等履修生の受け入れに関する広報を積極的に展開しました。

(平成 27 年度) (平成 28 年度)

・通信教育部入学者数 (正科生・科目等履修生) 3,590 人 → 3,553 人

## (9) 多摩地区を始めとする地域連携事業の推進

本学は、多摩地区にある大学として、平成 27 年度に設置した「地域交流センター」を中心に、大学と地域の交流を活発化させるとともに多摩地区の活性化に寄与するための取り組みを推進しています。平成 28 年度は、日野市との包括協定に基づき、日野市及び UR 都市機構と連携し、高幡台団地の活性化を目的としたシェアハウス事業を推進しました。

また、八王子市とは、これまでも様々な地域連携事業を通して、大学の人材・知財を提供してきましたが、更なる組織的な地域連携事業の推進を図るため、平成 28 年 12 月に八王子市と『包括連携に関する協定』を締結しました。



本学は、平成 28 年 12 月に八王子市と「包括連携に関する協定」を締結しました。本学は、これまでも八王子市を始め、多摩地区においてさまざまな地域連携事業を実施してきましたが、今後より一層、地域連携事業を積極的に推進していきます。(平成 28 年 12 月八王子市との包括協定締結式の様子 右：八王子市 石森市長 左：本学 大橋学長)

## (10) グローバル化の推進

本学は、グローバル化の促進に向け、さまざまな施策を実施しています。平成 28 年度は、海外学術交流提携校や在日日本語学校との連携の強化、本学教員の海外派遣、

入学試験の出願資格に係る日本語能力の見直し等、留学生受け入れに係る取り組みを強化しました。また、外国人留学生への支援として、日本語記述力講座やリメディアル授業の実施による日本語学習の支援、留学生交流会や日本文化体験イベント等、個々の学生のニーズに即した支援を行いました。

在学生への支援については、海外留学の推進や TOEIC 対策講座の新設等、学生の語学力向上のための取り組み実施することにより、多様な文化・価値観に接し、学生の内的成長を促す事業を推進しました。

|                      | (平成 27 年度)   |   | (平成 28 年度)     |
|----------------------|--------------|---|----------------|
| ・海外学術交流提携校数          | 45 校         | → | 45 校           |
| ・留学生数【前期/後期】         | 62 人/61 人    | → | 48 人/47 人      |
| ・認定留学派遣学生数【通年/前期/後期】 | 9 人/9 人/11 人 | → | 13 人/10 人/16 人 |

### (1 1) 大学運営基盤確立に向けた組織改革・業務改革

本学は、大学が将来に亘って発展できるよう、大学運営基盤確立に向けた組織改革・業務改革に取り組んでいます。

組織改革としては、平成 29 年度の心理学部の開設に向け、新たに「心理学部支援室」を設置しました。

業務改革としては、「仕事を通じて自分を育て、人を育てる職場環境」を基盤に、長期的視野に立った体系的・継続的な職員育成を行っており、平成 28 年度は、事務局各課の課長が中心となり立案する「部署別 SD」の他に、他大学との合同研修、職位や経験年数に応じた職員研修を実施しました。また、平成 28 年度は新たに実務に即応できる研修として「ビジネス文書研修」「OA 研修」「クレーム対応研修」を実施しました。

|              | (平成 27 年度) |   | (平成 28 年度) |
|--------------|------------|---|------------|
| ・部署別 SD 開催件数 | 72 件       | → | 62 件       |

### (1 2) 研究支援体制の充実による外部資金獲得額の拡大

本学は、研究支援体制の充実による外部資金獲得額の拡大に取り組んでいます。平成 28 年度は、教育活動の基礎となる研究活動の活性化を図るため、科学研究費を含む外部資金獲得に資する URA の配置や、学内競争資金である「重点支援研究費」の配分など、教員の研究活動に対する支援体制を充実させました。

|           | (平成 27 年度) |   | (平成 28 年度) |
|-----------|------------|---|------------|
| ・科学研究費獲得額 | 73,190 千円  | → | 85,960 千円  |

明星大学 ロードマップ  
平成 24 年度～平成 28 年度 経年推移表

- ・ロードマップ (1) 進路決定率
- ・ロードマップ (2) 志願者数
- ・ロードマップ (3) 離籍率 (留年率)
- ・ロードマップ (4) 科学研究費応募件数
- ・ロードマップ (5) 事業活動収支差額比率

## ロードマップ（1） 進路決定率



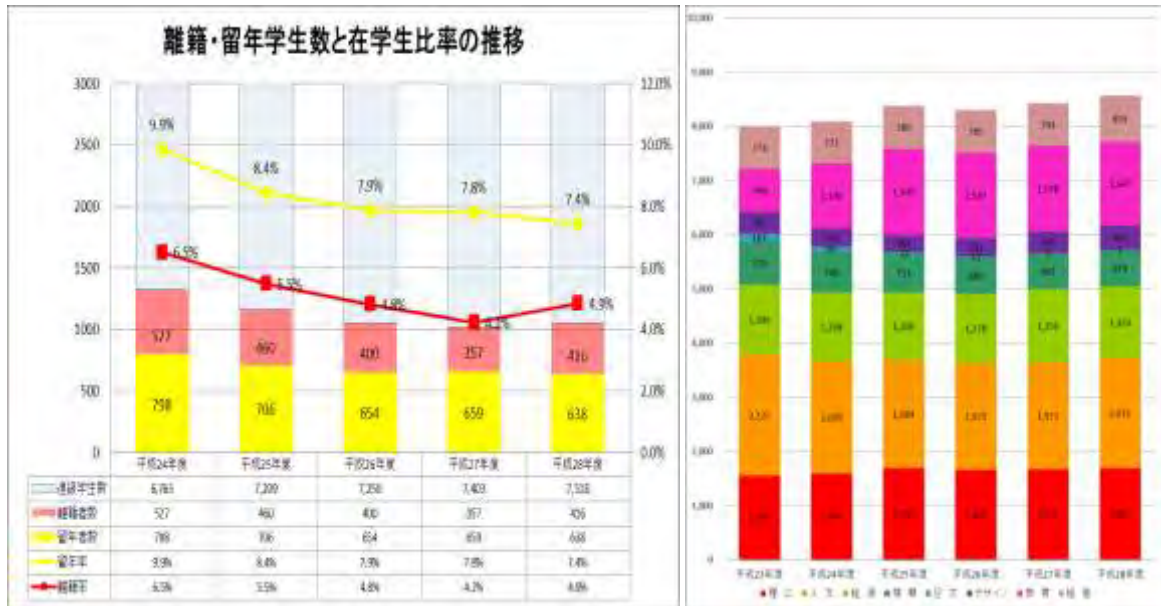
※進路決定率=進路決定者数/卒業者数

※内定率=就職決定者数/就職希望者数

## ロードマップ（2） 志願者数



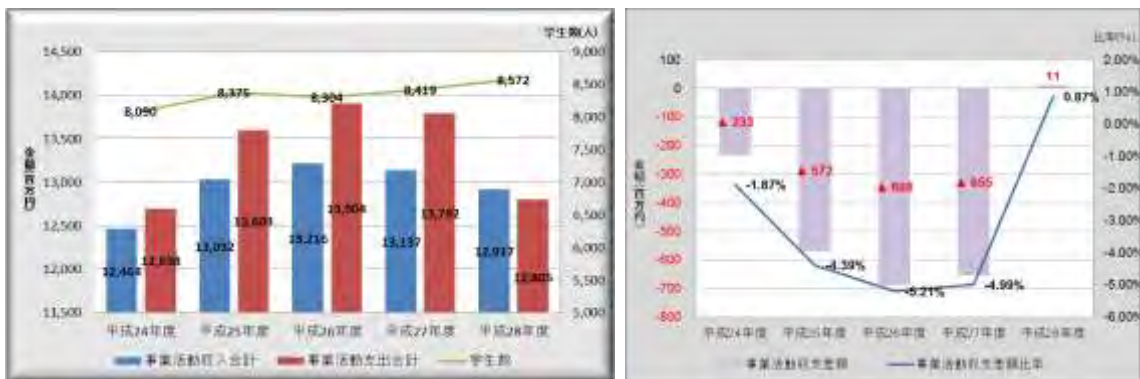
### ロードマップ (3) 離籍率 (留年率)



### ロードマップ (4) 科学研究費応募件数



### ロードマップ (5) 事業活動収支差額比率



## 卒業生の進路・就職状況

### ■明星大学

#### 1. 就職・進学状況等

平成28年度学部卒業生数は、1,806名（9月卒業生を含む）でした。その内大学院等進学者が89名、就職希望者は1,474名。就職決定者数は1,439名で就職率は79.7%でした。

#### 2. 卒業・修了、学位授与数等の状況

| 学 部 学 科 等   |        |               | 学位授与者数 |
|-------------|--------|---------------|--------|
| 学<br>部      | 理工学部   | 総合理工学科        | 362    |
|             |        | 化学科           | 0      |
|             |        | 環境システム学科      | 0      |
|             |        | 計             | 362    |
|             | 人文学部   | 国際コミュニケーション学科 | 89     |
|             |        | 人間社会学科        | 78     |
|             |        | 心理学科          | 104    |
|             |        | 日本文化学科        | 98     |
|             |        | 福祉実践学科        | 55     |
|             |        | 心理・教育学科 心理学専修 | 1      |
|             |        | 心理・教育学科 教育学専修 | 0      |
|             |        | 計             | 425    |
|             | 経済学部   | 経済学科          | 265    |
|             |        | 経営学科          | 4      |
|             |        | 計             | 269    |
|             | 情報学部   | 情報学科          | 128    |
|             |        | 計             | 128    |
|             | 日本文化学部 | 言語文化学科        | 0      |
|             |        | 計             | 0      |
|             | 教育学部   | 教育学科          | 385    |
|             |        | 計             | 385    |
|             | 造形芸術学部 | 造形芸術学科        | 61     |
|             |        | 計             | 61     |
| 経営学部        | 経営学科   | 176           |        |
|             | 計      | 176           |        |
| 学部 合計       |        |               | 1,806  |
| 大<br>学<br>院 | 理工学研究科 | 物理学専攻博士前期課程   | 4      |
|             |        | 物理学専攻博士後期課程   | 0      |
|             |        | 化学専攻博士前期課程    | 6      |
|             |        | 化学専攻博士後期課程    | 0      |
|             |        | 機械工学専攻博士前期課程  | 6      |
|             |        | 機械工学専攻博士後期課程  | 0      |
|             |        | 電気工学専攻博士前期課程  | 1      |
|             |        | 電気工学専攻博士後期課程  | 1      |



|  |           |                 |       |
|--|-----------|-----------------|-------|
|  |           | 建築・建設工学専攻博士前期課程 | 0     |
|  |           | 建築・建設工学専攻博士後期課程 | 0     |
|  |           | 環境システム学専攻博士前期課程 | 6     |
|  |           | 環境システム学専攻博士後期課程 | 0     |
|  |           | 計               | 24    |
|  | 人文学研究科    | 英米文学専攻博士前期課程    | 0     |
|  |           | 英米文学専攻博士後期課程    | 0     |
|  |           | 社会学専攻博士前期課程     | 1     |
|  |           | 社会学専攻博士後期課程     | 0     |
|  |           | 心理学専攻博士前期課程     | 15    |
|  |           | 心理学専攻博士後期課程     | 0     |
|  |           | 教育学専攻博士前期課程     | 0     |
|  |           | 教育学専攻博士後期課程     | 0     |
|  |           | 計               | 16    |
|  | 経済学研究科    | 応用経済学専攻修士課程     | 3     |
|  |           | 計               | 3     |
|  | 情報学研究科    | 情報学専攻博士前期課程     | 2     |
|  |           | 情報学専攻博士後期課程     | 0     |
|  |           | 計               | 2     |
|  | 教育学研究科    | 教育学専攻博士前期課程     | 0     |
|  |           | 教育学専攻博士後期課程     | 0     |
|  |           | 計               | 0     |
|  | 大学院 合計    |                 | 45    |
|  | 学部・大学院 総計 |                 | 1,851 |

### 3. 主な内定企業先（平成 28 年度）

（理工）東日本旅客鉄道（株）、東海旅客鉄道（株）、日野自動車（株）、（株）日立システムズエンジニアリングサービス、蛇の目ミシン工業（株）、（株）きんでん、（株）関電工、日本ケミコン（株）、ミサワホーム（株）、鉄建建設（株）、東鉄工業（株）、大和ハウス工業（株）、日本電設工業（株）、東亜道路工業（株）、（株）ケーヒン、（株）タケエイ、いであ（株）、日本郵便（株）、三菱東京UFJ銀行、（株）東北銀行、多摩信用金庫、西武信用金庫、厚生労働省、東京都庁、千葉県庁など

（人文）三菱東京UFJ銀行、日本郵便（株）、東京都民銀行、大光銀行、八十二銀行、山梨中央銀行、住友生命保険、多摩信用金庫、西武信用金庫、山梨県民信用組合、全国酪農業協同組合連合会、八王子市農業協同組合、（株）イオンリテール、（株）セブン-イレブン・ジャパン、（株）ローソン、（株）エイチ・アイ・エス、（株）マイナビ、（株）ニチイ学館、（株）大東建託、鴻池運輸（株）、アクセンチュア（株）、（株）パレスエンタープライズ、（株）ユナイテッドアローズ、青山商事（株）、（社）東京都同胞援護会、（社）東

京都知的障害者育成会、東京都教育委員会、群馬県庁、八王子市役所、相模原市役所、警視庁など

- (経済) 三井住友銀行、野村証券(株)、(株)北越銀行、城南信用金庫、多摩信用金庫、西武信用金庫、青梅信用金庫、東日本旅客鉄道(株)、アクセンチュア(株)、ANAエアポートサービス(株)、(株)ジェイアール東海ツアーズ、大和ハウス工業(株)、文化シヤッター(株)、厚生労働省 山梨労働局、八王子市農業共同組合、町田市農業共同組合、警視庁など
- (情報) トランスコスモス(株)、日本電子計算(株)、キーウェアソリューションズ(株)、SOMPO システムズ(株)、MKI テクノロジーズ(株)、みずほオペレーションサービス(株)、NTT データソフィア(株)、日本情報産業(株)、(株)プリンスホテルなど
- (教育) 公立小学校教諭、公立中学校教諭、公立特別支援学校教諭、公立保育園、私立幼稚園、(株)NTT ドコモなど
- (造形芸術) 日亜鋼業(株)、(株)コックス、東京アート(株)、(株)ストライプインターナショナル、(株)デザインアーク、渡辺パイプ(株)、(株)ドトールコーヒー、町田市農業協同組合など
- (経営) 山梨中央銀行、東海東京証券(株)、多摩信用金庫、西武信用金庫、町田市農業共同組合、アクセンチュア(株)、イオンリテール(株)、コネクシオ(株)、ブリヂストンリテールジャパン(株)、西濃運輸(株)、(株)AOKIホールディングス、(株)インテリジェンス、京王観光(株)、リゾートトラスト(株)、(株)ホテルマネジメントジャパン、(株)東京商工リサーチなど

## ■明星中学校・高等学校

### 1. 中学校卒業者の進学状況

平成 28 年度中学校卒業生総数 148 名でした。そのうち、明星高等学校進学者は 125 名、他校進学者は 23 名でした。

### 2. 高等学校卒業者の進学状況

平成 28 年度高等学校卒業生総数 308 名でした。そのうち、4 年制大学現役進学者は 272 名、短期大学進学者は 3 名、専門学校進学者は 12 名、進学準備他は 21 名でした。

### 3. 主な合格実績大学（平成 28 年度） ※難関大学現役合格 100 名突破

（国公立）宇都宮大学、信州大学（医学部）、東京外国語大学、東京藝術大学、東京農工大学、電気通信大学、山形大学、首都大学東京、都留文科大学

（私 立）早稲田大学、慶応義塾大学、上智大学、東京理科大学、学習院大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、中央大学、法政大学、日本大学、東洋大学、駒澤大学、専修大学、工学院大学、芝浦工業大学、東京電気大学、東京都市大学、東京農業大学、國學院大學、成蹊大学、成城大学、武蔵大学、明治学院大学、大東文化大学、東海大学、亜細亜大学、帝京大学、国土館大学、明星大学、桜美林大学、大妻女子大学、学習院女子大学、共立女子大学、昭和女子大学、昭和薬科大学、白百合女子大学、玉川大学、津田塾大学、東京経済大学、東京女子大学、東京薬科大学、日本女子大学、フェリス女学院大学、他

## ■明星小学校

平成 28 年度卒業児童総数 87 名でした。そのうち、明星中学校進学者は 51 名（男子 28 名、女子 23 名、うち MGS コースは男子 10 名、女子 5 名）、他校進学者は 36 名（私立中学校 27 名、国立 1 名、公立 7 名、海外校 1 名）でした。

## ■明星幼稚園

平成 28 年度卒業園児総数 97 名でした。そのうち、明星小学校進学者は 32 名、他校進学者は 65 名でした。